

# かざね 四万十の風音

## しんせん 森&川だより

### 「藤岡小学校と竹島小学校で夏休み森林・木工教室を開催」

四万十市役所子育て支援課より要請を受けて、8月2日に四万十市立<sup>わらびおか</sup>藤岡小学校の放課後教室児童19名、また、8月19日には四万十市立<sup>たけしま</sup>竹島小学校の放課後教室児童28名を対象にした森林・木工教室を地区の集会所で開催しました。

最初に、紙芝居「<sup>もり</sup>森」を見せ、植林したスギやヒノキは人がちゃんと手入れをすれば、水をたくわえ、きれいな空気を作り、災害を防いだり大切な働きをして私たちの暮らしを守ってくれることを説明しました。

また、森林にはこれ以外にも大切な働きがいっぱいあることを森林環境教育用下敷きを使って説明しました。

最後はお楽しみのお木工クラフト(山川海で繋がっている魚や水生動物等の壁掛け)作りです。作り方を説明したのち、見本を参考に自由製作とさせました。ファルカタ材(桐の代用品)を使った魚や水生動物等の各パーツに「ポスターカラー等で自由に色をぬり、ボンドでスギやヒノキの板に貼り付け、川石・小枝などの自然素材やビーズ、コルク等も使って装飾してちりばめ、板にヒートンとカラーヒモを取り付けることで、思い思いの壁掛けを完成させました。

終わりに、児童より、「とても楽しく夏休みの工作ができました。ありがとうございました。」とお礼の挨拶がありました。

今回の森林環境教育を通して子ども達には、森林の大切さを知ってもらい、木材に親しんでもらえたと思います。





蕨岡小学校、紙芝居「森」を上映



蕨岡小学校、森林の働きを説明



蕨岡小学校、壁掛け作りの様子



蕨岡小学校、壁掛け作りの様子



竹島小学校、紙芝居「森」を上映



竹島小学校、壁掛け作りの様子



蕨岡・竹島小学校  
壁掛けできたよ



## 「三浦小学校で夏休み親子木工クラフト教室を開催」

黒潮町立三浦小学校より「夏休みのサイエンスサマーキャンプの中で木を使った壁掛け作りをしたい。」との支援要請を受けて、8月10日(土曜日)に夏休み親子木工クラフト教室を一年生から六年生までの希望者(30名)とその親御さん(8名)を対象に開催しました。

最初に、材料の木材について、種類や長所、短所、木材を上手に使う工夫などを説明し、また、世界一重い木や軽い木、集成材や合板、CLTのサンプル等も手にとって見てもらいました。

お楽しみの木工クラフト(山川海で繋がっている魚や水生動物、カブトムシやクワガタムシの昆虫の壁掛け)作りでは、作り方や注意点を説明したのち、見本を参考に自由製作とさせました。ファルカタ材(桐の代用品)を使った魚や水生動物の各パーツに「ポスターカラー等で自由に色をぬり、ボンドでスギやヒノキの板に貼り付け、川石・小枝・輪切りなどの自然素材やビーズ、コルク等を使って装飾してちりばめ、板にヒートンとカラーヒモを取り付け、思い思いの壁掛けを完成させました。



三浦小学校サイエンス・サマーキャンプ中、親子で木工クラフト学習の様子



また、カブトムシやクワガタムシの昆虫の壁掛けを希望する児童も半数ほどいて、準備したキットを使って同様に完成させました。

最後に、児童より、「楽しい夏休みの思い出ができました。ありがとうございました。」とお礼の挨拶がありました。

今回、親子で一緒に楽しく木を使って工作ができたことで、木材利用についての理解を深めてもらえたと思います。

## 三浦小学校 壁掛けできたよ



## 「梶原小学校の四年生を対象とした森林環境教育を実施」

高知県教育委員会生涯学習課より「梶原小学校の四年生児童20名に、森林の働きについて知り、森林整備(山の手入れ)の大切さについて教えてもらいたい。」との支援要請があり、8月22日に、黒潮町上川口の高知県立幡多青少年の家で森林環境教育を実施しました。

最初に、紙芝居「森」を見せ、植林したスギやヒノキは人がちゃんと手入れをすれば、水をたくわえ、きれいな空気を作り、災害を防いだりして私たちの暮らしを守ってくれることを説明しました。

次に、森林の大切な働きについて説明し、話の中で高知県や梶原町の森林率や人工林率のこと等をクイズ型式で児童に質問しながら、「高知県は全国一の森林県で、梶原町は県内でも屈指の森林の町であることを学習しました。森林は人間が手をかけて林道、作業道等の整備や間伐等の手入れをすることで森林の働きは増します。逆に手入れを怠ると森林の働きは減ります。このため、森林の働きを発揮させ山の恵みを得るためには、森林に木を植えて、育てて、収穫し、適材適所で使う森林資源の循環利用をしつつ森林整備(森林の手入れ)を適切に実施することが大切で、私達ひとり一人が山川海などの自然を守り、そして、飲料水の源である森林を大切に守っていくことが未来に

とってとても重要なことです。」と説明しました。

最後に、児童から「私達に森林の大切さ等を教えて下さりありがとうございました。」とお礼の挨拶がありました。

当センターとしても教育委員会や学校の要請に応えることができ、大変有意義であったと考えています。



森林環境教育の様子



紙芝居「森」を上映

## 「津野町内三校（葉山・精華・中央小学校）の 五年生を対象にした木工教室を開催」

津野町教育委員会より「長期宿泊学習の中で、森林・木工教室を実施してもらいたい。」との支援要請を受けて、8月31日(土曜日)に黒潮町上川口の高知県立幡多青少年の家で、町内の三校(葉山小学校・精華小学校・中央小学校)の五年生計48名児童を対象に、四万十森林管理署と合同で森林環境教育(木工教室)を実施し、山川海で繋がっている魚や水生動物等の壁掛け作りを指導しました。なお、森林教室は四万十森林管理署の方で先に対応しました。

作り方を説明したのち、見本を参考に自由製作とさせました。ファルカタ材(桐の代用品)を使った魚や水生動物等の各パーツに「ポスターカラー等で自由に色をぬり、ボンドでスギやヒノキの板に貼り付け、川石・小枝や輪切りなどの自然素材やビーズ、コルク等も使って装飾してちりばめ、板にヒートンとカラーヒモを取り付けることで、子ども達は作品づくりに取り組み、すてきな壁掛けを完成させました。夏の終わりに木と親しんだことで楽しい思い出にもなったと思います。

当センターとしても教育委員会や学校の要請に応えることができ、大変有意義であったと考えています。



壁掛け作りの様子



壁掛け作りの様子

# 葉山・精華・中央小学校

# 壁掛けできたよ



精華小学校



中央小学校



葉山小学校



## 『黒尊山広葉樹植栽地の下刈を実施』

当センターでは自然再生事業の取り組みとして、平成25年11月に四万十森林管理署管内の黒尊溪谷親水公園周辺の自然再生を行うために、四万十川地域住民を代表する組織「しまんと黒尊むら」の地元住民と協働で、親水公園に隣接する黒尊山国有林9林班に、ヤマザクラ、イロハモミジ、ケヤキ、コナラ、クヌギ等広葉樹の植栽とシカ防護ネット300mを設置しているところです。夏場、植栽地の雑草の繁茂が著しく生育を阻害していることから、7月9日、シカ防護ネット柵のメンテナンスとあわせて職員実行で下刈作業を実施しました。

今後も植栽木の生育状況により保育作業を実施していきたいと考えています。



下刈作業前



下刈作業中



下刈作業後



林野庁 四国森林管理局  
四万十川森林ふれあい推進センター  
高知県四万十市西土佐西ヶ方586番地2  
電話0880-31-6030 FAX 0880-31-6031

